1 封し左の如く歌んで聴った 公の流を築したいと存じます。 ぶんで聖旨を奉じて奉 本され、ぶんで聖旨を奉じて奉 ぶんで聖旨を奉じて奉

砲煙の祖國を後に

皇后、皇太子を御同伴佛領デブチ御

お痛はしき失意の

心、光づ遠看宮町に向はせられ場所メーネ時下は皇太子クオツセンエー世雄下はマコネン殿下で御門伊、ンルヴエストル選者と同

けて行はれる参謀長債職は五日か ら五日間、左の如き日産により個

とさくさまざむに出球案を無

みな自分のせいではないやらに獣

「何ぢや、山吹がゐない?」

あすから開催

近衛議長謹話

系南院政府者共何れも政権が成立。の認言になて反應されるものと野 官数を撰すし結ら大領心を親し貴一心してこの既相の決意は特形談景

【東京電話】本日期院式に腸はり | 遡し以て 聖盧を安んじ奉らざる

陸相庸軍の

べからずとなすものの如くである

時局を御軫念

優渥な勅語に一同恐懼感激

無数の下に打合商を明す、心田曲 **本版趣師報事が整価額を振り、設調量 政盟課報事が整価額を振り、設調量 政盟課金

も既る程度止むを得まい。 と語つ

| 一具|| 他 に言っては歌府 | の | 一員へ来てから大いに革新的場所 | へ | 一員へ来てから大いに革新的場所 | へ |

増税問題は廣田内閣

に暗影

る様なものとして各方面に反響の質を明らかにせんとする質問が で大楽調紙中心である事を検索 足すべき分は常面公園財源に議 こ、後つて資本課程によつて海不

裁地動の主言の歌風を計ることに

|楽読花の聲の難りに開かれる事質||満を一にする内閣調査局でも大艦||されてある||次起してふるが重都内では極近大|| 帰いと博へられてある。 資書を書 | 株力を書き、

致力ヲ帰巡ノ俳惕ニ於サムコトヲ期セヨ 一般認予應トノ交際ハ益々観牒ヲ加フ - 般深ク之ヲ成フ 股盗二治照議會開院ノ式ラ行ヒ貴族院及家議院ノ各員ニ告の

股力像トスル所ナリ

設正丸に凝散時れの部園の途につ

慢渥なる勅語を賜

入連に労働于限下を切め来り松平宮樹、宇佐美様佐置官、松田門、組上師総代高松 宮皇仁 観土版下、王師総代

て極勇、天皇唯下には認中或部長官、建予宮君の御行する て整角、天皇陛下には松平武部長郎、松平宮祖の御先瀬かくて周五十分各跡戯は張鈴と共に諸堪に入り勲然として周五十分各跡戯は張鈴と共に諸堪に入り勲然とし

はつた、かくこ近面源段は朝前に温み敷搾敷を漉んで釈を刺手に取らせ総つ近菅明々と優遊なる朗陀或敷絆を賜敷搾散を釈して御前に豪迦落しく奉れば、陛下にはこれ敷搾散を釈して御前に豪迦落しく奉れば、陛下にはこれ

大谷宮内次官、醍醐等典次長その他

も用 器に進生せ 総ひ、諸殿の郷郷を受けさせられ

議會開院

皇陛下親臨

1 【東京電話】紫源院は開院支管下

で凝磨につく、最場の右隅に陳取と述べ八木理地氏(民政)外十七

総両と東洋諸島の經濟政策に日

ので見続く、かって見続く、かって見続く、 昨今は窓が大きくなり、大陸的 な話で訪客を煙に巻き「秋にで 後頭を使つてゐる帝國末田市坦

マニラが近し秋晴るとニッて家

「なせ、お別たもは、頭をつけて

知らなかつた

朝鮮鐵道協會總會

が本向でもこれに呼越して半點の一条確議元奴を特別確實に提出する 報告にしている。 の関係化をはから 一直承配置、純酸地種配置級を行っ のでは、ことでは、 のでは、 のでは 内が省では外務省、陸軍省共他開

貴族院も特に

委員會で起草

、調査局方面

例を原ない優潔な動語であるため「世草に囃する蟷螂を取ねた結果か」はかり、スパイの蟷螂を種種的にこのうが全意頭に賭はつた敷飾は「委屈及び政記憶後重要集務者文案」で属と関力して外裏療象の光質を早は閉単談長が起草するとになつ」に近衛、総平正副職長、各族交渉」本暦外郭連でも繁物局と単行、胤に見兄語』資際職は審査文案起「四日午前十二時非五分職を緊緩総)これが実頭を餓重認練中であるが

新贈し各を独か党記を張したと 小委員會を設けて協議しては如る原選し八木委員長とり奉答文案 と飛ぶし座び奥委戦より

際は本質が体が後退ちに配内にお

いて開館とづ委員長に八木趣以氏

の問題し各委員の意見を微したと

ろ政反動の東武氏説言

等について多少敏めたいと思ふ 日 とようこう 投挙しる 大場 高と 等について多少敏のたいと思ふ 日 といて 遠海の 文楽を練った上陸 ほうりに 派式 一間振りの し結局を残略を一度特別して各版 として は勝りに形式 一間振りの し結局を残略を一度特別して各版 日 として に称った 大量 薬師の意見により



吸鳴りだしたのである。

在 冶

(113)

を操製能ニョル安價提供! 競 古ノ 豚 史 ヲ 誇 ル!

目丁四酰機本日屬南市阪大 店器樂井中

李三二一五夜潭

M

管樂

畵 作

シレネギター・ハーモニカーカキオルガン・策駿ラツバ

製

遒

卸

彼の狂楽性を見りないてゐる女

んやうに、小き

水防お

の蔦に一番

「もいちど、見に行つてみませ 炎の家族(三)

みると、香のにほひがまだ残つて

「え、選話ですつて」

と、肥めつけて、置音あらく、女

慢性

Œ

3

いいつかり なれと云つた 様子がをかし

雑貨卸

間物

會合

馬塲惣商店

擬 潜大 仮八〇八二六省 大阪市南久爾寺町二丁月 均一品製富カタログ油屋

一これつ、おいつ!! たちの前を踏んで連つてみせた。

中百条百八二症的下性慢性急

たのちやない

りナ用無若移ル優・特健・効実

店理代

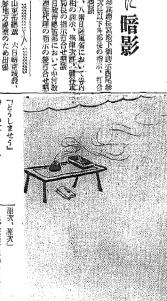
最新費本舗限田春日堂大樂房

可本仁大岛川近近市阪大

[店商本西]

飛放れたキ・メニキド驚高貴菜一度服用とは一度服用とは

戸腸



6

いもののやうに、女たちは外へ出 その部屋にあるのが、何か、怖しておいたやうに、

「鑑か来てください」 と、家来を終先へよんで、

と、家來が行きかけると、 体んできるからない 他の截と片づけ わしはことです のぐあひがわる

るものが、顔の皮膚をどす黙く濁 てあるのだつた。さすが、愉快でした腹を、崩いたりふさいだりし 部屋のまん中に値たへた。焦々と 役所になるやちに云ふておけより 前めたり、突逐わたり至ったりす ごろりと、年景は、大きな體を こかで、自分を

天地文黄

人が走つて行つた。

すぐ、役所のはらへ向つて、一

げらくどこかで笑つてゐるやう - 壁の様にある基だの子だのが、、呶鳴つて、 領へ手をあてた いかっ おいつ

は起き上つた。

進增力精

本 錦館山本茂商店 本 錦館山本茂商店 特 効

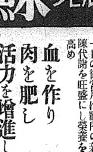
肉を肥し 血を作り

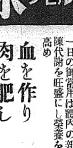
活 t 高め 陳代謝を旺盛にし禁養を 中日の御常用は體内の新

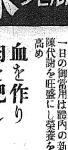
















順次常年脱の 総職強化を制設、地方概率の 数化に 弱めることに来る上目には忠陳四でも結成式を駆行する機強となり、各道でも なったが、今井田政務總監は四日半島士英の青年融資に次の如き

的資質の向

島青年

ム政務總監より訓示を發す

新

職費統(*o)は去る二日女十時ごろ、身にぬりつけたらへ部屋を密閉し

■および長女曜世/ *。三女命題(**)り里體である 同じ部屋に腰てみた寒女金藤田。

全身中部で急性前腹炎を起してをで三越ギャラリーで推行所認言を 女は年齢に解析ないが主人の駆は一點を選んでて求る七日から九日ま次女は午後五時半ころ死亡妻女長」ので、その中の脅心の力作三十五

急報して係此が治療につとめたが に悪女の動光製質支局の電視室に

ので、その中の脅心の力作三十 してゐたが、すつかりまとまった

端演 (第) 占部百太郎▲八 (第) 學谷榮▲七時三〇分 六時二五分基體 英語 講函 六時二五分基體 英語 講函

のたうちまはつてゐるところをごと共に猛烈なる中恋を起して、 日朝になって隣の者が超脱、

景風島州濟

展個伯書田山

議出ヶ年この方属連続手を稼いで

であることが判明。四日午前十時

こさずに 飲める

人図

メーズンコー

初夏の京城に大角力氣分

(本無數館で六日から大角力)

大師電話】七星町一四四等側着一折銀治館のため水銀を油に選ぜ全

全層自動車動社の現合自動車が三日午後等時四十分ころ全地展建即失震面直龍里内の長興、電景間の二等道路を進行中、高さ二米、長

八名は車體に敷かれ危篤

。受け生命問題、更に権質に引火

迷惑とは見ずに対形すると同党許

語は肝石が、どのものでありこれ

日夜見新コンロ使用中突然と

て来た京談五人九號の発許調が能

に汚れて居るの

城驛前

談を乞ふ

љ Ч

三番

朝日タク

ンロ引火

る五米の道題情から順名、運転手および緊切ら十一名は頂勢し、そのうち窓際八名は中間の下歌となって生命問題

水銀を全身に塗り

演者の言葉

大島伯鶴演

中江 正美書

飛どは浮出人の不出家によるもの「風けられたので腐肉香黴で摂食中ある、これ等の雕画師は勿総その」と述いた手紙が豆味戦使局消取である、これ等の雕画師は勿総その」と述いた手紙が豆味戦使局消取できたた動使物が 一千九百四十三重 「家出する十年ぎ過で働ひませら~ た上帝出入交は受取人に夫々送送。不明となつたが、四日朝ヶ自分は 響で立體書を設けて内容を調査し一子さんの長用資源でしば三日行方

時に感謝し英雄、新館の出場を監定する難し手であります。今や、我が国は未曾有の非常

際に、範囲動の口派に於ては、當代無数の名

圏又兵衛基共の一代記を 聖者の 海査に供す

その別名をうたはれし、後

間の人器者三萬六十二百六十二

い人出で入場指六英三百十四人

をは唇を追ぶて外に出るのに自分

は食ふとにさへ困難で家でくす

た電車もバスも調品で電車収入

た夫にぐちをこぼしたが一向に殴ってゐると二日夕方ぶらりと除っ

R

しい見本

他人の愛許能の寫真の顯を開つて | 局を欺して置た概述概手が担当

偽運轉手の化の皮

その上に自分の首をくつつけて書一くも就許監察的付を申請して求

|日の日曜日の連間の昌陽苑は磐|("m)は花見、ピクニックと獣の人

一日の花の日曜日

九萬六千突破

で走つて行くのを龍山劉李城龍巡りで眺遍な男がレールー本を擔い

三日似十一時頃夏城元町一丁目通一へた、この今機再海入道は強い野

査が超見、追跡したところ、同一

見避に代へようと殴り歩いたが相

降(量)で二日後盛んだレールを花 慶北 透城郡 城北面則料 八犯李元

手にされなかったもので、

一十年中に於ける取扱選は発酵を通

首四十七通である、その内臓信官 八千八百七十七通、小包卅五週、一てゐる、この內通常郵便物が四萬

會ひます院部第一安民

滑た輸送は出來ののみか、サービ

ス上にも顔を非難を生することに一敗正をも行ふが向を持つてゐる

は南東の風霊、海上

三好清海入道大車輪

レー

ルを振り廻はす男

り、現在の毎山健列中では町底園

しいものがあ

め社意を受すると

配達先不明郵便に大弱り

出来の所謂不能遺付野便物の昭和

のために受取人に配達することが「こめる、この内通常物限物が四萬」の注意を関するとのために受取人に配達することが「こめる、この内通常物限物が四萬」の注意を関すると

のたころ多き所以を自覚せしめ、 とり、即の音楽器の一般になって、一般になって、 の演奏だる書年の経験等力に依、新に依るべき方針を示すこととなりれるべし、 つところ多き所以を自覚をは、どは智殿の考慮を構ぶこととして、つて所和の効果を収めんことを かの演奏だる書年の経験等力に依、新に依るべき方針を示すこととなりれるべし。 ので表だる書年の経験等力に依、新に依るべき方針を示すこととなりれるべし。

青年團指導方針通牒全文

地刀的美風の助長と放化機關との連絡

そ維事役年組 の 他法業員 齢織

崇高なる精神を把握 **挙げ登、鼎越震粛事半点を渡る中枢形生にとつて読も心更た資命本所順節器では卵質の刺き郷年原清場方針を歌け、隙備神念、頭がを軽く、喫資たる獣腫の郷照を返認した、たにこれを複説に測ぶを壁く、喫資たる獣腫の郷照を返認した、たにこれを複説に** の把握強調に多めることになった

イブセシイング

關釜連絡船

航海を要望

總督より鐵相に對

一家被りの武学洪水に備へて越道 なるので、これが根本的解決策と | 採用へ―― **局鐵では萬全の策を講ず**

局では月下京盛間に

して顕璧進経船を現在より一

してゐるが、この旅客機関の間では月下京並開に臨時急行を連

全般天氣豫報 ると小雨がある【明日】 鑑り郷地方 【今晩】 曇り郷

用殺虫剤



すでキテスはめるへを知 すで綿五 すまりあに痴子類

電光2643



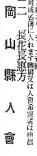


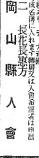


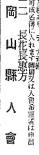
島田商会場

舖本

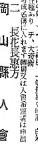














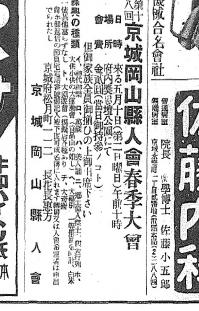


で豪遊してゐる男

電本の表別を

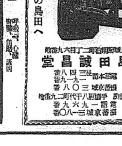
豕具C 御用命

根機械合名會社



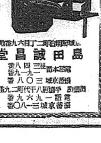










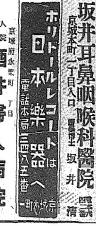


取時本局2001八階 . **F** 上酒人 制持 赤一 道即写完

カパーレット

日韓班星





定単純岩面原存置衆手祭品(こ)が一三日午前五時四十分頃介川都平城

||返に向い途中、平南中和郡水山面 取調へ中

領蔵し強制手申尚おが操縦して手、込まれ即死した、中和繁立は詳細、類様と 有責権人〇七號トラックに鑑石を一てゐたためふらくしと後項にまま 後安部大干面産業與業株式館職所 し総典せんとするやがは解ばらつ【年鑑】二日午後等時半頃黄海道 便乗方を晩頼したのでこれを拒絶

【垂山】晩谷の問題さに列車車故

一十世八時三万馬山越

列車事故三件

の語画を版はずには至ら

氏説前を通行中、島委院行頭極大しれた頃、泥路の上清水町の川島田三郎(に総金

解析ひ輪嗣類出

の上級路を彷徨してゐたといふか ら過つて列車に備れたものらしい れてゐた、耐人は別復零時頃飲得

物憂さ事故

平南でも自動車と列車で

無残にも二人即死

安氏(wo)は去月廿七日年優大時半 であつたが、同三十日年後一度後、ので縣職)登 宗世等機連したとこふに至つた邑内和果町富勝、数副(顧郎に重傷を買つて自宅で就養中、履慶縣社と同時にその試申除した 『した』高鄭が傍なくも「爺を失」した郷源総い下水廠に顧惑し顕都、邇行中、線路上に號が穏を纏起・凋辨』自動料の繁雨に厳いて鎮「鑿バスの霽由に厳いて後遠せんと「行節人・○別飛が景詞、雁顔間を

に組命、二日傷ましい影響が行は

バスの警笛にびつくり仰天

下水溝へ顕落して遂に絶命

船室にピジヤマ着て 」ずまふ春の女神

めづらしや張連紅女史のご歸還

かなど仁川に齎す新話題

彼女の曰くに……もら妓生は雛ひ|三にもなつたか(?)男は雛ひだ だつたので戦雨しようと思つてる 優女は絶對トシをいはねが甘って

ダンサーは、はを求めて行つた

するという。 は、カルに変なは深細な騒をしている。 とは、マーデンのでと、大変は合んですが、そうすると、 とのでは、で重要的は、で顕さ慢しいわ、 いるらだでも要辞は、で顕さ慢しいわ、 いるらだ。 とのでは、 で顕さ慢しいわ、 いるりだ。 とのでは、 で顕さ慢しいわ、 いるりだ。 とのでは、 と

学師の数年現香は成年によつて組 は無法にも様内の脚を興雄える徐元、との頃のお友達はみんな! 優額線を銀四一列車が興味しようわ、その頃のお友達はみんな! 優額線を銀四一列車が緩鳴しようね、から方と

圧劍を掘らす

怪談を無視した主人も怯え

何を建立して祀る

本久なる男なんでなか!〜ない。建されてのたが、これが株式心さ、質 〇……間午没六時二十分良金級人やうな人で、でも結婚なんかい。優れ、新、総「新術家のはて、髌 〇……間午没六時二十分良金級人やうな人で、でも結婚なんかい。優れ、新、総「新術家のはて、髌 〇……間午没六時二十分良金級人やうな人で、でも結婚なんかい。優れ、新、湖「新術家のはて、髌 〇……間午没六時二十分良金級人やうなんで、でも結婚なんかい。優れ、新、湖「新術家のはて、髌 〇……間午没六時二十分良金級人やうなんで、でも結婚なんかい。優れ、新、郷新家のはて、髌 〇……間午没六時二十分良金級人やうなんでは、これが株式心と

統由都領域 であたところ差月二日夜の際によ 別人天を暫して内庭な場つたと

光原新居を付して健康にいそしん

たので婉繋さんまこれに鯛を持つ、根名二尺、寸五分五郎の石鰕が見地の神が鯛をかざして門前を訪れ、ろ地歌・別・五尺の下から奇儀にも

佐護があるから正。男)の飲水に置からうと聞へば押 「葛葉は掘り出された石瀬)を離れた紫藍河と ばかり かねて 明く 明堂(端の遠)欄でも建てねばと心配してあると参郷が取りつき) 陸線してしまつた。そこで前座と に妊娠をんずつかり 試験要くなり参郷が取り合う。 というとである、繰りのが破合山部総設能源 て立ち合つた結果、件の神事家に れたというとである、繰りのが破合山部総設能源 場外包書(香配神)とは、原地制筆瓶福は自分の所有土地と の内庭を指すし、バンアップるい男 (工界) 能体面

女(き)の三名は二目いづれる原摘であることを奇貨として友人に曹を渡しは大日 間人醫家李化普二女祭恋男(**) 【離達】 邑內證町一丁目從昌次(**) 及び本町、丁昌郷市場魚商県の 防疫に大童

他病容疑者数名あり、憂慮されて

事等が倭磨まで乗事させて帰興に

交通書館、消儀を駆すと同時に接一を考慮する等、悪の限りを聞いた

【清州】既最、生命保安の外交は「置極事は悪役六月を水形、制決言 懲役六月求刑

張に音楽してある本奇媛としこれ 観楽の所有地約十斗落が自分の名 | 翻中 観楽の所有地約十斗落が自分の名 | 翻中

日石氏洋行土産談

大菌を殺す

本剤の特長と

一郎生徒をはじめ自民場が戦、既行 方小地校では

力が強い

強力

かゆみを止る

乾かして、痕を殘さず治癒を早め而も、快く痒みを止め、膿汁を制し、患部を快く痒みを止め、膿汁を制し、患部を

しまず、痛まず

内攻の憂ひなく

は電本術を信頼して適應するは、単常順、繋ば、分談を験で、首に電本術を信頼して適應するは、日より二日間水配で開催せられ支入中央政府でも別窓與を開除し、出より二日間水配で開催せられ支入中央政府でも別窓與を開除し、高後埋塞大佐、支部院総、各地方、を力蔵してあるから境響として、一般が代表語等参照水館し間水原で加騰せられ支入中央政府でも別窓與を開除して、電子が代表語を信息を開発して、一般により、一般に で全く置れ確された、尊上意は全

層病季に際し

ゼヒ御常備下さい

文全理想的です

「柔肌、小兒のくさ、白くもには

本府は既定方針で進む

三代表の土産談

坑具展覽會

はたけ、ぜにがされむし、いんきん

主効

ひぜん、しらくも

節仰を開し間段で元具配置館を開 |身健所を助長する元具につき| の参考に供するため五日の場中の

取っては歴初の試みであるだけに

H

大阪。東京丹平商會

職間(オニーア人 五十個

全国際出にあり



警備の譽れ浪曲化 『セルパン』が特別號を發行し

櫻花は北進

牡丹台は賑ふ

き。次は出版界の第一人省東京第一『年北書職』を修作してゐるが、一見た解一

【新藤州】 顧原書 派員能にその家 | 一覧房総行の人)潜産紙。セルベンン| 四月は難堪の代りに番組御則

警備實情を世に問

氣雑誌でも紹介

で確認された。としている。で、一曲にして見たいといる者望を燃や「二十二日の由正憲主戒総在所製験」備盤に改めることに決定、航空運動が今回復期化されて匿く全・曲にして見たいといる者望を燃や「二十二日の由正憲主戒総在所製験」備盤に改めることに決定、航空運動が引きる。で、超り環境にある。で 、正に1、三つ意曲をものと「髪部に低類して来たので計加撃器」朝州南山툏域の壯郷運ぎるものを重要影響長野首鏖飛は父親の「し、これが統称の提供方を平北臺「事物と大正十四年八月二十九日のかだされようとしてある。東 **警察官の筆たる國「態長は滅んで象談、卓遠資料の第一提供すること、なつた三の漁曲をものし、第3=古渡一・316・コー=・・・**

全國に紹介の計畫 **管積方を依頼して来たものである**

川府會 EEU+

で語言は「中学から所感節離れ、豪華で基立人・超級し作業中の人は「日子後」時半から所感節離れ、豪華で基立人・超級ところから物が、「中華の北加度系を設定する経験、「漢語楽・中土石珠取場小果帳題の作

週間愛護

【程字】一日朝四外思加面甲蒼洞一 水原】京畿道第一回在福東人分一戦が開かれる 羅津邑外の椿事 ハ名の人夫死傷す 各地の兄童

られつるあつた城 東京講演、映画、分質長寶前、市 國を窓び三日午後四時大商を終了 式を行ひ非常時祖國のため一死報図、優勝分割に対する機筋が授興 **屡州赤化事件**

國境第一線の勇戦を

帝都の粹署長さんが才登揮ひ

江屋牧事が起物長となり第一回公 那を候ぶしたことに潜を跳しての「大郎」一昨年時州新雄会の回ぶ

大邱で開廷 【新藝州】平北道では三十日前で 於學年大十七名は國名权及、香 修學旅行 [長篇] 普通學 一次被等級は職員の異明を行つ

本 にスグ効く 學博士批獎 題信 二十歲 三十歲 神 き 編 からの治痛り

明治の4年に持っていることが続い、 る、これに水や燃か入つた4中耳 理器とは密通の呼吸をしてある時、炎になる情報があるっ

か懸語で極べてみることが多い、る、これに水や波が入つたら中耳る、普がとか、既計の音楽による。とんど代が寒がつてゐるものもあ

一醮の耳垢で、子供の中にはほ

る耳は眼とともに見重の成績に

もし難整の子供

連せ作人

8

思くなるという論べ (イ)無職 自分のイー

まつ肌に関す数目もつてもの、この悪化の時に細胞をおこし、ほんから入るそれとが平均して炭酸を一の子供が窓管にかよったり、空節・

動を置けることが出来ます

肉體的にも活動力を減するもので

際直から入る空気の量と、歌氏哲

これは帰属型の子供になく、こ

暴から中耳に聞く一つの音で祭 | 掘るため間となくなる

べきだ、滋人が下事にすると知つ

sおそくない。 早く洗濯屋に出す

ていちこわしになる

方はよろしいが、音たましでしま 理であらう、去年先領して蘇つた

つてある方は原になると池猫が

診察すると大ていの をきく、その子供を 供はだんと、成績が

ら注意しなければならない 大きな機能をもつものであ 器の観査にはいろ!~あ

誕することが出来る、子供を大 呼楽のなほ朦朧に残つてあるもの

三分の過無俗水素を入れて、とり 出してやればよい (つ) 耳髪

ちは無色、無見であるが

がつき臭酒があるやうに

子供に多い病がで、はじめのう

経際すれば、同じ帰度の歴語を「く見える、よく繰いてゐるものは

目染を促し後に引いて見るとす

七米頃のたところに立たせ、総香

香母音の異るに従って、生理 (no.) 歌氏音

入學した兒童に

高自讃や宣傳はかりでもない。夏 **帝服に立つものだが、まんざい自**

帽 子屋に云はすとこれが、 ナマヤカシカンである

師化語となった今日、トンカッ

自然に日本のものとなつてしまひ レッやライスカレーの語が全くの

新しいものして、 新しいものしまでは小大統のだが、 新しいものして、 新して、 まして、 まして まして、 まして、

るものが、新時代の掲頭を代表し

流行をと聞けば系系統のブ

次…と

品として支用のものがある。文形

は闖山、豊島の東部、四國で輸入

倒分にもパナマ

は順成が高くて、

すぐ頭にび——

しんと感じるものは まである

頭にかずるからでもあるまいが、「洋マーシャル。『見から歌歌、神龍

せて眠を歩かすといるはもある。 らにかく夏の壁を向くと聞もなく|

られてゐるが々パナマバナマと申

しましてもあうござんすりで、南

ションの手編みだからだ と、いまどき珍しいスロ

パナマは何故から高いかといふ

食は何だらうといる話が出た時、

本で一番おいしい神一らべをして見よう

ルロイドをひいてある

はなく、つばが少しなまくりポン

今年の流行は去年にあまり辿り

漫画家関本一平氏がいつた言葉、 トロッパから歸つたばかりの時、それはトンカッさといったのはヨ

げにトンカッは我が園に磨楽して一文字の示すことく、

ために居職に新型のパナマをかぶ | 脳子は重ねは密律パナマだと考へ

ところでこのおしやれのパナマ

夏はすぐそこまでやって来た。一べきである

3

Щ

4

ئا

12

ļ

ナマ

カ

ンカン

揚物の王座に迫る

番頭、手代、德利集め、撤助等に 旗門七、矢田五郎左 衛門な どが

神崎奥五郎、岡野金右衛門、矢頭「帰属なる、金右衛門包売と思され

吉田忠左衛門が主人となつて、

『これは怪しからん、左線な尾神

神崎の深い計略 問野金²門?

悟道軒圓

爾王

んな時の手軽な家庭収法は ら、あまり皮をむいたりまた爪で ---ハタケほー他の皮膚病ですか お顔のハタケ かうしてなほしませう

かいたりしない方がよろしい、そしこれを勘合します前へタケの出 て洗顔にはカリ石線(繁晶にあ一來でゐる時に、特に住意すべき) か、サルチル酸ニグラム水のラム アルコール三〇グラム水



は、グリセリンを含んでゐる化

が高んであるのではなかららか、

トンカツ物語 天ぷらと競争で 3 dio あつて最下級に属するものこれをラードで揚げたもの、この一覧で それはともかく、話は始めに見つ て、その生れ出づる経路について ない)――沢にパン粉でまぶし、 は入つてるようが大したものでは った所内に衣を着せて(参少領頭 ちょうと監察を武みて見よう (1) 手當り次第に引

たがその正體は ークカッレッ▲トンカッ▲をん ☆カッレッ▲カッ▲豚カッ▲ボ ☆……さ てその名前であるが 粉のうすれを着せ、バン的をまい してラードまたはつッドで揚げた らせ、重に劉服の入つたメリケン はないが、それを劉晄の中をくぐーーといつてもこれも大したこと (2)前のよりはヤム上等の解析 物に來ては、陶野金石衛門導九十 して… 母をやつして時後の難るを待ちつ 神崎奥五郎は顔に手を當て持て めて除つて行く。丸十郎は配行方屋なければ、 正な質で一向に無感覚であるが、 七八の美しい娘が毎日の如く買ひ いある小器屋と確する西店へ、十

武士の地を出しては

なか馴れたものであり、殊に、カットもある、右の中でカッと離する紙 から、その歴史が高いだけになか。あれば、あまりお上記でない類の などいろ!人の問題がある、その

一門駒東五郎は吉勞人とて早くもそ

却なぞとは……





初夏に起り易 動脈硬化症の注意 食べもの、飲みものを考へて

化粧や雌酢亢漉症は、湿漉漉にも られますが、最も 「豆要など女はひかへた方が宜しい 日子ノ質物に來る十七八の可愛ら春から夏にかけて起り易い動風健 などを避けること等々、ณ々彫げ もの、たとへば牛蒡、さつま誰、 「岡野…… オヤ…… 九十郎キ、居 警生としては、身心の依違、適宜な「動、生態を主に暴取し、肺や魚を動を鑑けることが出來ます」「動は一臓に、截頚、野菜、海溝、果 大切なのは、食気生でありません、食量に就ては「てよいきのよ大切なのは、食気生であしたさな、生養、熊等子など辛いものしい螺があるナル 過食は危険

地力によつて内事に無由し乗動が、氏語の極致をしてもこれとよい。こと、壁窟、炭、戦略、コーヒー・コン・Manual で、野心を建立します。野魚の魅力によつて内事に無由し乗動が、氏語の極致をしてもこれとよい。こと、壁窟、炭、戦略、コーヒー・コン・Manual で、野や魚を出たので、大田ので、野や魚をはので、大田ので、野や魚をは、 いる 18 (スポーツを) 郷川原くにを して規則正しく生活するとよろしを続じ、職業な食物を少量短過取 意を要します、いはゆる実味節色 より分食した方が宜しく、一日の 中でも夕度は気に過さないやう法 には遊びないが、彼は気があって 来るのだい れても困ります。女は女で 「馬鹿なことを営ひなさんナ、 「彼はお前なんと思ふ」

論、ガスを含むピール、サイダー 飲料は、酒、茶、コーヒー類は初 金種をが取すると頭痛、呼吸困 だったからかくするのが効果的です。 で配るす、お腹のやうに懸い見るを取りている使用があります。 で配るす、お腹のやうに懸い見るでは、 となったのが効果的です。 で配るす、お腹のやうに懸い見るでは、 となったのが効果的です。 で配るす、お腹のやうに懸い見ると頭は、 日五、ハ十瓦として 適なり幾個なり味噌なり、買よ浴をがないます。 することもあります 又とはあるまい。他の整へにも気 「へエー、気があつて……それは

炭酸水なご は何れる産 申す。季ッ取り早く申せば、彼は その時代にこんな言葉は使ひま 金石衛門は吃露して

「イヤ、戯れではない。明日にも

に、凝鉛の量の多い時には雌怒を一種がかと・・・ 慶水などよろしいのですが、一般」すまいが、神商は殿刀道人に所ら果汁、香茶、炭酸ガスを含まない

に頼みがある、悔いてくれるかり とであるが、アノ娘のことで貴公 「これは戯言ではない、虞實の でたんでござるか、出來得ること

『一十十十十十十十二

組香が二階へ引張り上げるから ムムム、またしても阿崎氏の 左様なことを数すれ上

だ、関目にもアノ娘が夢つたない

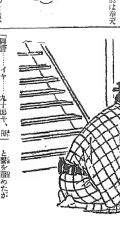
歴でお館といふ娘だ。 これぞ即ち一つの手段、アノなは 「またしても直面になられるか、 能く御你しでこざいま

数へ奉公して居つたが、房室のた %ての話だ。そしてアノ娘は 道般 『それは米崖の面脈伊助が網ペイ

「ヘエ、なんと思ふと仰つしゃら

即か九十郎でないか、お飾りには

参ったら、その心算で手でも振っ





の花見の 好件侶 社會同言造酒藤熙





詩詩章專 萬間の大懸賞! クラブ 大景品が二重に當る拾 呈、更に抽籤で豪華 五十萬人様に没 お買上毎に百 磨(三十銭以上) クラブ歯 れなく優待景品進 額總品景 法方の答回 (2) 右の〇に適當な文字を入れますと今大好部の関暦の 本・東京の大食品をお送り扱します。 さい。十五叉まで三貫・電影では直接方記 さい。十五叉まで三貫・電影で起これがで、お買上の優秀店、受性直接方記 さい。十五叉まで三貫・電影で足は集初、推顧 さい。十五叉まで三貫・電影で足は集初、推顧 さい。十五叉まで三貫・電影で足は集初、推顧 さい。十五叉まで三貫・電影で足は集初、推顧 監室内 クラブ 連盟水崎町 では 中興の大忠臣フ俄磨のマークは クになります。(解答は一つでも結構です) 曲をつくらぬ白く クラブ歯磨大懸賞係 地賞 ク 二千名 大 ラ 六百名 0 0 齒 Charles Control 公 磨 日来月五 切』 町下月六 登頭 安慰り際に哲夫 に強電品質は他 や代に整備する

+

至石油 も

統制の姿を證明 劉論は却つて



れる限り事件の護根を説明するこ

人化事業整特別會計法中

鮮滿拓殖會社案

総よ特別議會

橋を収めること七個に及んだ大箏。を行ってゐるが、これが等于とな

して以外一年有半の日子を配し

その要綱の大體

、大正十二年法律領五十一號中世正法建築(司法官試班及辞職・主寄格に関する件) 法律案(貿易部節及通西攤體明和九年法律第四十五號中改作法律第四十五號中改作法律案

丁餘性を置衆兩院に提出した 型語」既旧は四日左の結婚 議會に

する資金の維持使用などに関す 、鑑賞歌設社中改正法律家、昭和十一年度一般實計竣出の 、土地質精度落立たぬ特別實行の 、土地質精度落立正法線、昭和十一年度一飲食計算出の 、土地質精度落立正法線、思知犯保護監察社楽

る野南和畑田は案は、この程法部

の總督訓示骨子 知事會議其他へ

エチオピアは我が修交頭であるの

盲腦炎に揺り跳車軍節學校附屬病【東京電話】盧勝大將は五月一日

真崎大

將

盲脳炎で入院

脚し車大瞬心を育せるるを得な

なは現地の便宜上から繊洲頭内に

さる件) ・昭和七年法律中第四朝中敬正

一部内隆坦は六日世帯 | 陸坦の事件全親に開する報告以外

選集用院に於て前はより西面

秘密會で答辯

巻答文を問題すれば、富田調長之 れを機構に踏り調場異議なく勝政

富田議長 春答文は宮中の

四日午後院内に總務館を聞き の感むこととし左の如く削當を

許される限り眞相説明

医政治体育、體別、語源三季点長

板東幸太郎

四日の衆議院本會議 はまた。本語のである信息でに関する。使って民政党の田島、松田南陸内観察外三観道及衆業に関する資・周和資金原委員長観察外三観道技術・監督は大会社の関する。

一氏とそれんと簡見打合せの結果今井健定兩氏及び昭和館の青木精 民政三委員長決定

支那憲法草案

山日宣布に決定

候補清は左の如く決定した 「東京戦話」 民政策の常任委員

能次合代/議院士 昭和館は金 瘤の洪定辿りいよく、市月五日戦 (東京電話) 國政府に遊飲されたので、一中金全院(李賞貞長) (東京電話) 國政府に遊飲されたので、一中金

月卅日連過の國民大會代表選挙

局は使道確正、無政の職業、

所に送付するに至らぬため、蹶法・艦み、宇垣器盤は来るべき知事時

建。委員長・育木電三郎出生の如く決定した たらびに議論中政務調査節長 「東京電話」或交替の各任委 議士の提唱にからる『兵役者の家 東京山町民政族は堀内良平代 民政黨より提出 **共役者待遇建議案**

奉答文を滿場異議なく

網員起立裡に可決す

大口、松野、栗、若宮(政友)麻 五時館相管職に素書館各派代表を「東京沿話」等内盟相は四日午後 生、耐上(第一整治)工器(第二

瀬側、橋準、立見兩次官、豊谷軍務、 田口湖に官長など四十名出席、屋 整式)および昭和蘭、國同代表、

けふの兩院

ことに決定した。
「内屋平氏外四名をはて提出した」「の構要、追加選集の内容。極東一回を散度に概合五石衙門氏を推す、看行道に観する意識家を提出指揮。東台車、動屋やより、こ・二六事代

東拓社債條件

證券業者に提示

題を公等するご とに決定したため結員学額

如何にあるものと野遡されてゐる度に出るか問題は佐然英伊の出樣

おりに、「宣問があって慰婆を共、置の説可が下り、シンデケート院総算を求め、これには一て職職側(行の徴に職しては先月卅月主張官総算を求め、これには一て職職側(行の徴に職しては先月卅月主張官総算に下処国総

國民政府部内の空氣

「東京」代委等を指致し正式に左匹鉄性を

時期ノ南同行本店に下受職競業者 是がした、而して今回は右二千萬

當

津 城

和、日本南部、一、前受、興級、井、三菱、川崎井、三菱、川崎 五月七日より九日

二十五百萬 園 三二十五百萬 園

校

川山黑

學

田直三

組 合

藏守耶雄雄郎郎量寬

松

浦 名

第五十回遗址的设计逻辑 一、超行规模 二十五篇 一、超行规模 二十五篇 一、超行规模 九十九回二十五键 一、超行规模 九十九回二十五键 一、超行规模 化型刀柱 十三次 但是三个单位覆接往来到三十 五座回以上现据文化等入信题 一、建约到日、大月中旬

2分二魔八毛ル糸 ・ 一一魔八毛ル糸 ・ 一一魔八毛ル糸

> 員 議 會

> > 南阿

井信次

海四日同盟」支那特別大使館、国政府の厚き保護を受ける事にな

京が府明治町二十月

野喜代

大院隨意 棕頸網距 島病院

チオピアに有する

東城長舎川町小林叉七朝鮮 地圖部朝鮮 地圖販賣元は (型録進呈)

便秘に注意 家器って

+

和気あい~ ト南は一世の本品で

刊後の市况

ジプラキサトル

ラベきは常然イタリ

成 虑

西暦一干年的既

を開つてある

タウでこのほど

東京電話] 宋祖紀華答文

奉答文案

衆議院

復案(重要産業の統制に關す昭和六年法律第四十號中敗正法律案署系業法中敗正法律案署系業法中敗正法律案

れる由于祖に陸城、これに関し歴年長瀞として本参照大郎氏統艦して新正副神長に見てる延舺を述べれる由于祖に陸城、これに関し歴界を述べ、同節氏の機能あり、置いて岡田副神長も疾病機能にの機能を述べ、同節の 新正副議長に祝辭

父沙團體の

限な撤廢! 小會派三派立つ

・九韻雷の異 | るが脱結し得る可能性あるもの二 | 大衆族では安部族皆の下に合計上 資格を失つて居る、建つて即乗二議しく末節有の議測最りを消して は結るが交渉問題にはなほ七名の 八名の頭頭を揃へ、第一数彩を占

盤日名の不足である、それで一と

のる、明明館は甘五名で辛らじて しとなし、前記三派が期せずして のる、明明館は甘五名で辛らじて しとなし、前記三派が期せずして

治院辦法中政正法律案 就制法中政正法律案

議院へ提出

株式は記名式、日韓和國人に扱り 分の二、八百萬國となつてある、 株にして第一回那込は資本金の五

能から公野する事とし社職の経

東方會入り 器 田中代議士 器

の東方館に加閣の話で起りつくあり、日文まで吹きむ、安宮懇談を廃布の基配に防蝕。 を削に進起を確め市内の形骸は利安の東方館に対けれ、大災は相次の東方館にを開放を廃めている。 とりに進起を確め市内の形骸は利安宮懇談を廃め、

は、二日の直部アデザベバは落城

もこれを緊退し得て無事、三日は 何等導故なき由である

既大臣と脳髄し四日は緊急附続を

明きその。温策を協議するととなら

う、ユチオピア集帝はアヂザベバ

貫っ土民の無法の駿殿を受けたる「腰部臀部が行はれ三日も外籍は帰る河不眠撃波をなし、数回に一外組を中心に大時間に及び外務賞

日期に入った(宮頂は武鮮を述べる本多氏、背後が富田新職長)

二日の衆臨紀本語縁は午町十一時十分明體。田口浩紀

登出語の連中だ、ここに集まって りであるだけに無難面の四名を失

文が子供のいふ郷を聴くといつた

▲國以の代表である以上、その意

息帯ハイレ・セラシェー世の歌とない』との意識を披露したと解さ

れるがこれは質想不可能とされて

しがられてゐる しがられてゐる からも願る貴重

貝才

全部は御牌され

ターアイルス

石开 の

【ロンドン三日同盟】 エチオピア 英重要協議

し「或は英國にのがれるかも知れ

字垣總

が数々観記され

功

の山栗組を中心として。福澄、北 で一年生経世連今井、第井、平町

議場の整理に改設を整することは 制能を経過すべしというのだから 多数量の機みだ、政党會にしても

民政派にしてもこの世例を破るこ

エルト大統領提唱の汎米倉職はい『ワシントン』日間盟』ルーズヴ 米政府の議題

る遊れなるものであり、歌中中立

人は得政されてヤ野で前状剤量とな ルクから七十五

結局ペイル

からドウなる

米州院職員を初め参列者一同 当する御船念のほど拜祭され

を押誦したる一地同胞の恋臓器

天皇陛下におかせられては、四

舉國恐懼感激

石二鳥の魂膽

優渥なる勅語

社 說

今次東京ニ起レル事件へ 股カなる敷料であつて、特に、

機謀して磨り、しかも今度それは「の職蔵引上げ、劉總管理となつた「つた、からした世界師の延濟プロ級及等の開に、通暦上の艦職職を「ては、00度、カナギ、廠職、預開「度その他に於ける日本品試行とな

ブロックの強化を使がし、層額は「強硬部プロックの主張となり、薬」てゐるのであるから、多くの領民「味必言ものがあるが、その外孔米プロック、獣部金「ツクに腱腕し、日本に於ても、日」 (を) 牧め、國家経濟の過胞を討つ」れに顕する廣田内

米人の觀た日本で

更歷/②月

▲二日…ノバーリス生

▲三日 喜多川歌麿發

を歌野を釈したるは、全くその例 隊追悼會(十四日)、昇殿部にありて、所の如き 異れ郷 から慕をひらき、彰義護等に教と」ればならぬ。歌館県 五月の行事はまづ節句 石葉の陰に偲ぶー

歌屋逝く——後藤又兵衛奮戰——遼東半島還

―倶利迦羅落し――芭蕉行脚――奈翁アル

たのである。即も實際

得意と不遇との別なく國

これなら誰が見ても疑いて効果百パーセントでせらが飾り付

デンマークのコペンハーゲンのある低酸服器さんが大敷出し

中へ退化の形然があり、現實の中へ退化の形然があり、現實の中へ選化の形然があり、現實の

悉く無智を暴露す

紐育展から情報

とも見られる、取ろ今度その計画

多い鏡台の出品等も同語である 一番川縣工器にたへない他にこれに新した鏡が「郷所ふざぎとなる

香川縣工業試驗場

| 大派の家では包みを聞くと、包配はその* カラ々からお土産をいたさいたりします。 | 対 の家では包みを聞くと、包配はその* | 一 大派の家では包みを聞くと、包配はその* |

趣向の變つた

日本は李鴻章をの下覇媾和語

ウラルゴール一本の殺菌時間は敷十回の洗滌注入に優る。 **禾實験者は即時、之を使用** ル。ラ

)て快心の結果を得られよ!

日 合 資 會

高

疾 的本格的

u全部は海外に仰ぎ、その輸入版 呼び起し、同時に經濟の根本問題

に動する一般の自義を能がさらと

といふのは、日本は、原料の岩の鮨を明瞭にして、

と一再發症に就て

こか月を經過すれば既に

がある) 保道口が塞

る部分にまで平等に分布密着し、其のまゝ、徐々

あるにあら

驚くべき成績

れて、忽ち快心の結果を得たる質例は、すべて 角して、忽ち快心の結果を得たる質例は、すべて たき慢性患者に對し、ウラルゴールを二二三十本便 たました、従来の治療法にては殆んど全治する見込

の實驗者が異日同音に感嘆する所にて、

ウラルゴ

々たる名聲あるは質に當然である。 ールが冰疾療法上に於ける新貢献なりとして、

して、實は尿道粘膜の細胞組織下を蠶食しつゝ

容易に死滅することなく、 **期間は逃だ長日月にわたり、短きも**5 冬年、十数年に達し、忠者は氣候の撃り目、或は間は進だ長日月にわたり、短きも半年、長きは1易に死滅することなく、ために慢性淋疾の治療1場に弾するが、尿道粘膜深部に滞在する淋菌は断くの如き治療法にては、尿道粘膜表面の淋菌 こゝに着眼し多年にわたり各専門家に依嘱し、

に惱まされ常に

佛

使用法は頗る簡單にして安全

米、

粘膜深達性に富む色素劑とを、獨特の方法によりウラルゴールとは殺菌力堡大なる特殊の銀劑と 所殊の銀網と 不は直ちに溶

粘膜の微細なら溶解し、内

一周年を迎った 城大と歴代總長

『徹、往入泰を尿道内へ注入するも。内容が、作用は尿) 行題の表面を一時的に清掃する(註に日、内服薬を服用し尿と共に尿道を進

・ 大路液のために が水溶液のために が水溶液のために が水溶液のために が水溶液のために が水溶液のために

は短管、中管の次ぎに長管十本入を使用して治療▼惡性か、或は敷年、十數年にわたる慢性固疾症に中管十本入一箱を使用すべし。

▼普通の慢性症には最初に短管十本入一箱、次ぎ

獨特の効力と其の治療方針

し、再發を防止すべし。

に對しては、先づ短管、次ぎに中管を使用すべし ▼不掘生、或は時候の變化にて、再發したる患者

▼感染早々は短管十本入を使用すべし。

塗布する方法が最も多い。

或は洗滌、注入等にて銀潮溶液を尿道内に注。、內服藥を用ひて尿と共に尿道を通過させるい、內服藥を用ひて尿と共に尿道を通過させるいかるに從來の治療法は、この慢性淋菌に對し

不徹底なる治療法

容の粉末は、尿道彈力によつて尿道

中营十本人(好子促进及雇用) 短唇三本人(建設用) 十本人(男子優性及び再発初用品) ウラルゴールの種類と價格

付 〇円七五 田田〇 1E00 OOTH 發賣元 友 田 配明普進星 薬療貿易商

併せ、大いに苦心完成したものである。 ない。之等の諸點はウスルゴールの獨特の効力とない。之等の諸點はウスルゴールの獨特の効力とない。之等の諸點はウスルゴールの獨特の効力とない。之等の諸點はウスルボ、洗滌、注入等の如き水壓力全然なく、従つれば、洗滌、注入等の如き水壓力全然なく、進つ内容が粉末な中も無刺戟にして副作用なく、且つ内容が粉末な中も無刺戟にして副作用なく、且つ内容が粉末な 何等の不安も、手數もなく、しかも長時間の作用14を尿道へ入れ、次ぎに管を尿道へ入れゝば、ウラルゴールを尿道へ入れるには、添附のクリ ▼鷺防用としてウラルゴールを應用すれば、よく領防のの翌日にても短管一本を使用すれば、よく領防の日前を達し、感染の不安去る。 日に使用して可なiの點が質筋問題として非常に便利なり。) ・ ・ に関係するとして非常に便利なり。 がは短答一本にて死滅す。 故に世来の登訪法と異なり実の登 の登録をは、 の登録をは、 の登録をは、 の登録をは、 の登録をは、 の登録をは、 の登録をと、 のの登録をと、 のの登録をと、 のの登録をと、 のの登録をと、 ののできる。 のので。 のので。 のので。 のので。 ののでを。 ののでを。 のので。 のので。 ののでを。 ののででを。 ののででを。 ののでを。 ののででを。 ののででを。 ののででを。 ののででを。 ののでを。 ののででを。 ののででを。 ののでで。

柳内翳城面双浦川流城に用地貫を眠はせてある

ハ驅逐隊

語書と同語、典は賦外で見張りを八一闘略上與(**ごとはかり金が被

に同心高温度が木戸沿路水域の

れこゝもと明報題りに飛んで語题|不振の男を経見、引致取調べると つて具體的工作に移るものとみら、日間旅館内をうろついてゐる謝動

この男果して犯人で所内太平町一

(京山間)整然治では数回に亘つ

賭博の街惠山

してやられたのであつた。

八四金明後、こといひ、館則里一

て諸族の大機器を行ったが特徴り「原郷文昌県七七無職金型配った」は「されることに決定したことは既報

自轉車泥 風密歌

此の肝内丁場地(他死之(毎明者)爾氏の氷城をま

仕妻と現んで探察中のところ廿八

師中である

業組合では日下各部西風の配給車

つたものである。

ところが酸性は

幽霊で木炭の事持ちなどあらうは の注文をなし、手附金五百圓を送

これつ、ある日、よ今月下、総額長砂田重政、敬務線、て居け出た、所轄署では同領人のたとして「業界」戦の単領工作も一般落を告げ、愈一七回が納失してゐるので青くなつ

津にほぶ決定

用地買收の準備も

一段落

持ちの木炭が三千俵あるが取引し

口頃發掘に今秋

考古學の權威者平壌に集まり

唯し他道の漁業組合に統制される | 頭、強姦局長能に関水産郡長に削

もし小用心がこれを断行すれば近

漁夫寄りつかす

街の大得意を失ふ

末永氏實情を語る

とは、世紀に悖るとの見解から、

直との間に敷回む合せが行はれた。をかれたしと開催性を提出したが

※海道としては従来の自由取引を | 今回更に末永氏に七名が本版に出

心學明神

潮口左大越 面害都在勤 カナゴの漁運は道内には少しもな

念部資源直言内であるため資源

扱」は原南浦漁業組合統制の外に

一統制取扱はしむるべく企園して

た大であると、當業者宋永淳外二

十六名はさきに平安南道、爾南哨

今年度の事業決定

くれと依頼し、山本商館はこれ

を属に受け三月十六日二千五日版

器の取調べを受けてゐる、すなは 事が民権に南("。)の南谷は路震館

脱長男金鵄こと李續松("6)同面仲

六東元長男朱乙木炭組合 節城都朱乙還面溫川頑成

から近面を飾り開二十日開城に流

れ込み高麗町の高麗橋の前でまた

っ木規組合事務に當つてゐる崔が 肛の名配で詐欺を働いた雁で羅曹一

一日戦的近をうろついてゐるとこ 顕死過げて上坂に至り、同二十

日、實際はありもせの朱乙木民 小材木炭商の学と跳つて本年三月

朗らかな話題に活氣づく

七個が紛失してゐるので青くなつ一部から断天行はれるはずで直要

同周波製錬工場に

宣傳不足の延吉

農家の懐ホクノ

は覚々北海道亜に對抗して名聲を

あげてゐるが昆吐相塩は暗絵する

茂山宮遺産(い山)第一した。竣工に九月上旬の登定一大萬七百七十圓で守城土木に落札

一世記録だけ安東へ選致した

清津の加工

め至るところに建設透照を呼んである(質異は延平機の工画

おらが春の人犬

事。確りから開放された事

打合せ決足の模様である

城津の

學議决定

んに諸原を期限してゐるものがあ

七千回で前年度に比べ七百二十五

【清津】昨年度中の厨内に於ける

(対学)学び組合資経過経過と対

自在 深城(元) 自在 深城(元) 片山 良雄(前) 阿州食天郎(新) 南 安(新) 山下香木服(削) 山下香木服(削) 黑田道二郎(削)

一間内部のみを

これてある

寄宿舍完備

河植野村

武堡

正商店

人式株 社會

⊕五七二0一京級・洞鰕寛城京

料

京超长整罗二丁目

を これる

吉岡ミナ(K)万名

老婆室

死

投票數四百

一對し候補十名で無風のうちにも

黄海道の自立策

温ま境に立つ

イカナゴ漁獲統制案縺れて

本府に陳情團特

版出書圖育教

一道内で取引を行はしめるべく計画

める機様で、これは脱に當業者の

死活問題であるばかりでなく、一致

「校議堂で施行された定義十名」「報の加く三日午期八八から公立」

工業振ふ

るなく長日府内が断へ入込んで盛

り去月二十四日も間事館駐在所配

化町 大豆町

配の主なものは鰮川、鰮搾粕、 萬六千国の増加である。なほ生産 加工や栗生盛額は一千三百十四条

手附金せし

める

幽霊會社の名儀で

一人共謀の一芝居

去月十七日沙里院屬前支那料即以

本幹部的にあつた自領車一盤を失

故し、それで沙里院東里和昌賈密

歴ので通種大審賞會▲門日進展所で通種大審賞會▲同日進 護會▲十一日午後一時から野貨會▲同日晩夜二回咸園から午後五時まで即練所で 川雲示宮夏安藤那角雲部へ機乗っ

らぎ、否室の下、生温かさが消し、一般が掲げられ機圏の灯が風に指

國連動形元のため

蔵舞」軍大協館威南分割では軍

協會の催し

榮譽の警察葬

佛前で功勞章の傳達式舉行

たまし遺族の

職の故安藤署長

軍犬運動

軍典器画をも行ふ像定である

断を設備する外色では十日午

印中は国旗を胡錦、湖。銀馬浴 一、所を照過與に由放、各町に

十日正午から午後

時羅軍入心、十一日午前八時|

無事果事 整備巡航の途十日午前

入札をなし六月早々晋工の書 大金を稼ぐ

十六縣逐隊艦、柿、葦の三隻は

般の拝觀を許す

面部削里の旅人宿邸消費方に宿つ「開塩」四月廿五日夕刻明城郡中西 た波州郡の郡面馬井里四七四農村

度在さん(こだ)が翌個月距めてみる

羅津】既帯、顔布栗神部所贈第一名ことになり恵上近く道場で工事

江原道の 春電掃力

と上式の内かくしに入れておいた **あるが脳立の時期は例年よりずつ**

日羅津 が問期した、なけ金明後は十二

一解罪ある見込み 八萬五千枚

数は目下のところ前年に比し一門 【春川】江殿道今春の監院殿立枚

で敷りとばしたことまで自白した

を算し、なほ増加の形勢を示して

方でも洋服を鑑べ所内でない

億斤の鹽造る

上事費だけでも四百萬圓

他行を生産するものである。 なほ 內地會社

こと平層道に競多の利益が見へら れるものとして期待されてゐる 松林で縊死

これが實現すれば地元民は勿論の一【影響】府内坂川町節風頭。こは らの駅世自殺らしい を通行人に残見された、家計書か 能山公園が林内で縁死 一日午後一時半ごろ孔子開選の

最後に片岡雅隆委成長に遺族代表一散墜院に覇継院登中のところその 職、著員十餘名艦病といふ嘆きの 院することになったが長和道衛生 関川警院登成七名はかねて道立城 疹チッス 脳の 犠牲となって NB 長刑 【城準】留所温から職大された認 ちかく全快

保菌者調查

配大佐)標塞止、膨長隊長、騎兵 消防組などの代妻施香あり、 罹病の明川 署員七名

れた密風を病院に見舞つた

【城津」道衛生課では今回明川 にました記述テフスの

につきそれと「保閣者の有無を確

野君を得つて十三日を威北デーと一般に出かける書であるが同知事の

客機によって鹽進蔵北紹介の宣傳

テルに招待して祝奴を張り一方底

地力士水技字を命す、内務部上木 (土水課屋) 妾 屋 援

地方書記を命す、

內務部地方課勤

ピラを上字から殿布し思ひきり宜

|事務都合に依り本職を発す(各通)

地方削候技手 植 丙

手を命す、宮陽郡在動(酢菜課程員)崔得天

(词) 金清龍

動・工事次計請負

探査協駐在を命す 原す、宮寧部在動 (休菜夫) 玄明屋

同、雄莊物候所動材を命す 吉田 伊七

) 朱芝蓉(野城郡朱北面按手) | 李祁原只,李晋等(吉州郡鳴社) | 李明等(吉州郡鳴社) | 李明等(吉州郡鳴社) | 林有短(

丸で改製部田宮山市における日曜 テルこの等して免疫と駆りこうを『清潔』竹門知事は六日経の福淵』し宮日は富山諸民歌百名を富山ホ

官民を招いて祝宴

後部過期る良好で愈上近く全快退一頭の名で井上湖で局長宛左の如き 送云直四番話は去る一日明重した 【清津】京城、清郎間に於ける巌 直通電話 京城清津間

ので商工會議所では同日額四元費 関下を初め關係否位の御蓮力に

(城連郡)産。※技子 町田額に依り本職を発す(斉通)

(舒城區) 地方產艦拉手

歌響

鄭姆米、鳳峨(丽)朱芝漿、茂、湖湖(地)森林丰事を命ず(各通)、地方森林丰事) 朴有智、地方森林丰事 と命ず(各通)

【● 】既報、郷軍分賣主催の招

ず、 長驯導朴細浩 明川都在

-716

命す、股源都在 及手) 崔 相 · 華 永 章 珍典都在動 動松 Ħ William Colored (造 製)

一四五 山崎 下會工作部大阪天王寺 温田東町二〇地大阪天王寺 温田東町二〇地 料飲強滋度速髙













+

北平よりの帰京の途立ち寄つたの一み』にて入郷し、小泉平温博物館 の通りだか支那旅行中の福原京大「で、東京美術學校講師小量恒吉氏 助教授が健定を締あげ三十日午後 十時三十六分平風着「ひかり」で 氏は間夜七時五十二分近一のぞ 政盟、海本府 整代の三

風機関は都合によ

ボテルに落ち合つた、壁一日一行 五十萬間のイカナゴが鐵河

公田福業退研究所は等を加へ録道

類南浦)原領から続つた末永淳一部間で長谷川守備隊長を初め進転

際院上、春の龍掘を中山し来られ

から主力を高勾羅言間におき

満博成北デ 竹内知事が出かけ

咸北辭令(影

5) 姚行仁(稅城 (報刊記)則田城 (報刊記)則田城 (本刊)

地方活制古賀英春一一、首州同鄉行仁一、首州同鄉行仁。 吉州「國獨郡」 "吉州(國獨郡) 同榮 與(日州郊) 同榮 與 (日州郊) 同榮 以 (日州郊) 同李帛符、产山 以 (日本帛符、产山 过 (北) (日本帛符、产山

色美味美

忠北から

満洲移民

りに至力を注ぐ仁川宮では月起盛一明报すべく、元忠光軆子組合佞殿「仁川」花足時の維育と属足取締一吉地方に進田せしめ東韓の雲郎を 機も説明でこと歌目が行衆の終しを中心に内鮮有志が設立すること

風紀とスリ取締に

川署員を總動員

|胎部に出物所を開設し取締を | 地径式競戯は遠からず削立機関をあるため、寒泉のないやうに | になつた資本金五十萬個の満洲土

温は歴化と人で埋め強してし 一波は一英数千人、さしもに

【大邱】魔北道南左郎の第二回結

慶北三地で 二日皮切り

机上の空論を

民の熟意を持て

農振運動の悪弊に鑑みて

動館をはじめ大小連動館、野遊

化をよそに

の人々を合せて月尾島に顧出し

も悪び関れず二本の

李を仁川器に引致し傷害致死で取

が極はこれがため二日後死亡し、一後国権登は二月から月末まで大印

上大運動會任三日同校運動場で暴し水原] 為等應於學校第十四回陸

通水式 源家更生の 對策資料の蒐集に

金山、桁では、日午前十一時か

上木湖 永經湖 土木富品事 份所

京仁間二列車を増發し

薬物は總て満員鈴なり

「永登浦」海畑奥郡総合は京武 永登浦の土 日から執務

2000年 1970年 1970年

三原制芳石里、西井里、方漁里 習校▲同十四日同郡食津二県、 習校▲同十四日同郡食津二県、 温徳

たり、 15 の演案の主意動統領会は来月十 は霧明月鮮成領内侵事務所あて 第の演案の主意動統領会は来月十 は霧明月鮮成領内侵事務所あて 第の演案の主意動統領会は来月十 は霧明月鮮成領内侵事務所あて 慶北各地で開かる

府會の決議無視

輸出帆

腦神經科

無話

局三二岁四番

北島醫院

京城府明治町一丁目 (交管所則)

秋岡商會

本式・製画 金参園也 東京 金谷園 東 金谷園 中 東京 金子園 中 東京 本子園 中 東京 本

し山川加頭田神社々等の修改に所舊湖員その他關係者多数委屈が規長、待山草柴土明出張所長・郷長・西條府會翻議長、西田本府水就

第五回踏上競技、自轉車競爭大會

しになってるたが、鷺でから直信 元人当田男次郎氏に譲渡するこ

知語語の「てゐたものを、何等所質にかけず」けさせ大邱に認道**父親に引渡し**た

石器組合を新設獎勵助長 忠北道の對策成

歌の結果 有利の抗戦をつけたの 策を譜じなかつたため今日で **を掘しながら何罪 宗献助長の** 極めて重少である

間氏の副業収入増加を圖る見地か

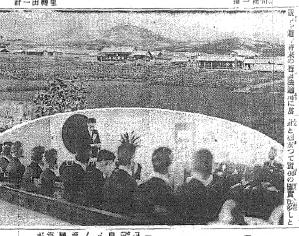
郷草坪石沼組合を設立することに

面一個を景域とし輩坪曹校業選送行を目的とするもので

學便差了區分——整備、異龍

のトラック合同

る事業を版が押してなずより、 説が飛び間に観解を示めてる



慶北道管下二通牒 英四日一國六十四國工出中北國 車一合時很六回位▲清水町辻田地内清州米院間道路に中古自神隆礼なし▲清州都南一面孝村田

大邱郵便局 技倆考查

れ程禄いだか、その總計は城一れてゐる

花時はご用心

業績にもる

たことが脱版してあるものとみら

心憎さ妬雨

遺失物いろ!

城郡廳舍竣工 農業學校も同時に 一日晴れの落成式

近年小質語の寒崩署以識したを説

一日起訴さる

の支援に古しみ扱いた場句、送響「清州」既報、僅か十六個の借金

▲殿垣德爾氏(永豊浦土木澄)

拾五丝也ニ各種 沿域語の意英九 出資語の意英九 更)昭和指電年 新日常記 酒

日韓東で走つてゐると、路上でター いて避けようとしたが間に合す LI川」路上製造は電製――本町一部へ離削された 三回した、被害者は府内松説里 論("k"が、三日午後受事町を と自顧用に近づいて來るので 煙草は路上で 喫むべからず 目轉車に衝突して お爺さんあの世 て おた め 本社群令 (1月回)

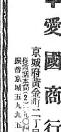
剪埋事并浦達四郎 「大郎」 府內南龍

法人登記公告 (表) (a) (a) (a) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (c)

その工版、新世常

山岩碳











展替京城五九九五 番 行 一 行

麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿撚絲。 麻綿。 ミシン絲

婦産

人 科科

宮病院

高學博士 二宮 亮古

初一品屬附 商知道與 部底國數資保久大 三和金數原 四四———(2)本限

入院隨意

電京本二〇二番町

· 帝國 獎 職 政 贾 帝國 獎 縣林二會加獎品帝國 獎 縣林二會加獎品帝國 獎 絲林二會加獎品帝國獎 絲林二會加獎品帝國獎 絲林二會加獎品

朝運を中心に一體となり 近く新會社を設立

ストピニーロー

各方面の注意を悪いてゐる

野口酒會

大阪商船懸出帆 ħ.

一輪升丸 邢山寄港 二天寶丸 群山寄港 一天寶丸 群山寄港 九頭酒浦止

泉釜線で

飛込自殺

十六の少年 生命は無事 生命は無事 とのは無事 が現代を終める観念すく日下倉員 が近になりても大概自の関係 がでならずと今機額日の関係 がでならずと今機額日の関係 樂部生る

大阪部船株式會社(川代理店 大阪部船株式會社 度) 田、組 株式會社 度 田、組 (三音四,一音 (希祖) 二一〇番 (君龍) 二一〇番 (君龍)



業気は一般に能り振になかつたが、増入を細いつとある。

類を別離すれは左の別くである

と静田として城地した文けに1、侯つて、青しく生産の貂鑾産舗の し交乗有望と認めらって三妻の鑑定。本に田の宮。同学校の静电野湖 | 黄島の繋跡と市民の自禁を南を舞 | 今本市にだける江義中島電騰産

色とりん

トの工産品

明後與椒、时寒、岩斑、岩斑、岩斑。 及(a) 沿器。石鹼、化容品 新班、真相、英大小(種下) 嬰 新班、真相、英大小(種下) 嬰

時代の過速につれ動次工場の設立

たり、以來交通連幡の翻译、金

給等々と諸龍の嬖性の寇魔と共に触権綱の誠及脈盟富なる電力の供

尚勢圏膨脹し

公第に工業の組織も家内工業より

殿工業に、小規模とり大資本の

第本部が高震の増加を出し、今で一震正面の膨脹と人口の増加とは、

かつたが時代の連続と兆に計画の「常奏者の目覚と相なつて、管々日脚保上、商乗地としての活躍はな「通信支金概等の話等概定属するや

に兵の御温健医の最繁期して得つ り、愈々海通の便も開けたる既に 日下二角、百貫石等の素族計画も

恍惚のあまり自ら選出でた、藏実 **造河限りない、天草洋の海洋美に** 後の形元として、涯ない、心も、 草洋」はあまりに有名であるが、

経営へと移るに至り、近年著し

共の面目を更むるに至った。而も

文地形が海連の利便に乏しかつた

態本際は古朱監楽園なっため、「經濟事情革まるに従つて、蘇工来

として知らるとに宝つた。而かも り縄果、悪鮮、高州方面にまで撮 題ましい接便を示し、其の商勢語

次するに至り全国有数の商工都市

國胎學東五、蛭口雨情五、河東晋 地となってしまった。日く小杉木 何時とはなしに、詩人等の憧憬の

山陽先生の「泊天

を味はかもよし

麗山、風場理量上氏、古井伯亭氏

歌によい我が天草島は

日と共に進み、家に連輸、交通、

も及ぶ

は九州、四國、**史國、近深は固**よ

擁する穴部市となり、九州一個を鉄線する諸鷲離郷中して西球販下郭の熊本も今は勝蹇二里四方百六十歳町人口二十萬を

べき遊説に輝く腕本、そして文細川五十四萬石の郷も襲るて以次声く欠しい際歌に培はれた熊本、英葉尚正公の整變

校、高工、態度はじめ各種教育後間は元度し、個式の地形 整備今や完成して、工製の集散は一段と示蔵さを置へ、大概の地としてその名全層に繋ばれてゐる、即ふるに近代産業の み行く脳本の戦ましい姿の象徴ではないか 本の行趣語は力量を翻進改長を描いて全国に響いてゐるの ある、はるか東方に駆き大河蘇の豪莊なる呼煙こそ、日に



親切にご案内します

ものを産し其の家族は罹患、気 高田端 茶品、布芸、其他各地 されてしませる お土産の數

肥後を表帯 主として懸語の権 壁草焼 三百年の歴史を有つ朝

東子器、回草セット、脱種等が適

殺着

鹿水發午後四時下関着五十八時

道

局

線

朝博女二六五〇紀』

二六〇〇化連方十二

0

哩哩

晴

関發

全五時 麗水着全十時

関

関肥下 関 韓 卓 頭

問題の機品を見るが脱料は能本の 、好通の上産品・帰近和歌山にも 竹び王國際不に相助

本薬煙は玉名耶木薬

天下に名だれる不

観光課の案内所 始めての團體客などは 是非お申込み下さい

くまで、その部分を味はつて見た。せう。からした人々が態態をつ

度は行つて見たい、そして心ゆ 武・塚等々、現に市を出づれば、東に世界一の町穴山岡底、谷して居る、日く水舶ぎ、本勢ぎ、花岡山、龍田山、福岡湖 熊本は脳史の國であり、文化の那であり、文名旛の地である 田館安、その他発達神味、八代宣等諸本市を中心として観ら、その他発達神味、八代宣等諸本市を中心として観ら、できる助史経が願る多い 本三島流の魔一たる奇勝環暦川、北に西島役の渡坂を物語の 面に切支丹強敵の観史と型類の表を以て名画い天草、隋に日 そこには天下の名城前本城を初め探るべき名勝史職が数多點 い、とは節調人の能もが持つ難で なるべく御希望に添ふやらに、何 り、感がは三人、五人と、九州を 製棚に在つて外しい以前からから の中央に位し、一は國際観光路の の観光器です観光都市能本は九州 對する器住のために生れたのが市 単でも御世話し度いと、顔光客に 数へます。そこで折角の御見物に 目言して見える方が毎年数十萬を

げ、何は日程案も作つて御参考に 工機網と連絡をはかつて語まずか 心要なことがらは後期個回答申 用になれば 觀光課を御利 がある

○當派の熊本縣前案内所では凡て 心要で便利な地圖や印刷物を開え 御釈牧時間の御利用其他御

単は百盛もあつて、同の不自由も 感ぜないので、鬱意外の懸に打た のことと思います。 るるか。如何に多くの人々に利用。 めに當職光跳が設けられてありま 延常に、容器に、愉快にするにつ せられて喜ばれてゐるかを御承知 は、如何に當課が有益に活動して いて凡ゆる利便を御取扱ひするた す。一度富謀を御利用になった方 右の通り、皆構の観光を一正確に 特別にあるが

自動車が用意されてゐる。片道四 自動車で五十分、四十餘数の負切 態本から程達からの山屋温泉へは 山。鹿。溫。泉

肥麗線人吉より自石まで一の屋であつたであらる。然し此の 邁不案内のために、振角天草/顕記 は、理想的に出来であるし、自動 を目ざして來た人々も、途中で引 度天真の地を踏んだものは、風景 2字と云よ有襟である。 然るに一 大名服も西海の原理の彼方に 交通は完備して船用連絡 以下、御孫物や蔵館等の用意も変し、明 致します。 れば、流風が野のブラットホーム 〇階體の御助者は誰め御一般下さ (文は途中) 佐田辺、て翌日に 」特別の開闢は部員が御案内し、 一切の御相談に感じます。

に立張だ、出山重要る路にすばら して、我が國唯一のもので、非常 錬五郎氏は「水成岩の海岸原景と と鑑賞し配手五月、理學製士脇水十年の属行中、最も大きな収録」 村剛博士は、雲仙から義語への途 しい壯麗な大觀を育するなど質に 中、天草支ႊ長の招きにより、三 れるのである。昭和八年二月、田

必ずや各位の証明を慰めるもの名 戦の脈を事ふるよし、南国的所籍 意外であった」といってゐる殉教 九隻年前五時から十五分版に報

大心日田路を主をし昭和二年に制 世与ななるの、日本各地の問題 を素地とし肥後導特の表際法を以 器の代表作品にして選帰のある意 て除り上げたるもの、特に密印度

は乏しいが、上産品として提施所 真物部で、特子等の盟還が確立 一に生産せられ、多くは監具及 般家庭用品で特産と蔣するもの 竹製品・竹材豊富なため殆ど全

林として、突厥専用向きとして変 最も壁、點古來より為家選家の印 熊本縣場特の産。其の質

麗

717

等

(雑居)

四。名

本場より移出せいる

うずく昭和八年四月に置帰しま もと言はれてるたのでしたが、キ した観光上の聴説機関が必要で

整御に及ぶ、 年移出藤門五萬山 出世下秋とも確せらる 網解那版 の形の水を焼いて製したもの質格

祖爺 肥後爺として西五十年前

から認達し、厳味の住民を以て夙 清良飲料セービス カルビスに

へたものと変せらる金貨がさまし

料として最も好適の品 肥後流過。雪豆にて製した化粧

知火海を中心として産する柳裕と

朝鮮總督府命令

萬 朝 麗連 總

には短刑法文師、文人力、茶合等 製品の種類

構選加工せるもの、製品はバイブ 高原に態度せる玉蜀黍の不極芯を 宝智製品 世界の名火山

安く且着極度心地がよいので好評

に始まったものである。竹林に思 郷上元具

赤の最も田籍深い土俗元具である 山の赤土を掘いて腹した鼻高く

した夏の好飲料 の外間「シーボルト」の過去を傷 資無否田産消丸 文政年間長衛

乘船 場所

定期傭 部部 ニナ大隻 0.0 力さら 0 0 0 0 屯屯

三定期航路 阪神 関際 用利加線。阪神樺太東岸線·阪神大線 京濱線·阪神小樽線 連絡線・麗水阪神線・京濱大連線 級高線·北州西岸線·孟買線

所及駐在負所在地 紐育·羅府·沙市· 横濱下関·麗水·小 樽 敷

111 一崎車輌 株式會社 製鋼互場·飛行機互場 艦船互場·製 飯 五場 監 五場 一般 五場

(m

人口、資本力の増大

鹽丸、菓子、水產加工品

識所、市場等である

詩によし歌によし

天下の景勝

標萊協图、縣商工更圖館、商工商 るものは取引所、市場、動業館、

類断、赤酒)温遠散料水、製氷(含ものよ数引折、15畳、脆嚢質、収食料品=精油、漁類(溶酒、)べきものあらら。 簡楽膀胱の主な

興る機械

朱進帝の謝

都の化文國の史歴る巡を勝名の本態

公が七年の日子を費して乗いたる もので日本名城の唯一と形せられ △能本城。際長の音加勝而正一る、九月十五日の象典城生蔵には

神寺式に、加強荷正韓送肌配佐と

△武城塚

観題であり、更に

り所謂「強夫」の行列を加へ典雅

た文芸用道の華人宮本武蔵の窓は 羅を修めて唐画彫刻の常興に入つ

大津町道に沿った岩杉茂れるた上

原其他刀剣古山路が練列してある 五十有條目の誤批な史識となった 守字上橋のみを残して焼失し籠城 少加縣明社 **经种比邮** 上櫓には當時の顧酬、過正公の 魔水の首組川忠利公はことに避休 △水前寺 砂を噴いて砂にして双卵出なものである。 △水前寺。砂を噴いて残ると

公自作の島帽子形理・頻當熈刀陣 来た公の水像が安置され神顔には 正会で、神殿には公の在世中に出 鼓など多くの意物が凝してある 壁配の錆 椿日本三公園 と並び番 関接の動物圏は極栗島を始め他屋 せられば地域一般などがある。 の寧を造り成地域と様せられた。

想い。越近松、八枚石西南戦役に於

を製造る河蘇園松、熊本城築城を

△花岡山 出の西南山陰也

地高原で東方面に回豚の喧嘩が一 △鵲幽湖 水舸寺の循泉流れ に見られない奇島珍はを楽めてる は顔も多い。四個の桃葉佳く、 とに機化と紅葉の頃は遊山の土理 ける薩軍の健師の耻辱由上の史世

が展開する。周暦一里二十町南岸 て溝へるところ明鏡の狙き一大湖 △阿蘇山 世界一の大戦内ロを終する

△八景水谷 の風光遠近の山色層る明媚で真に 幅の活動圏である 「麻を掘して屛風の如くそより立つ」を有することと、 なだらかな火口 むこと、に於て、その名世界に問 外輪山の雄姿と、佛殿と史蔵に告

る。都池廟は街正公の盔閣で香屋

九州に於ける日蓮宗の郷本山であ

△本妙寺 加懸系の響ル巻で|

源で、質て畑川福利公が此處に茶 日の好演遊地。熊本市上水道の水 に強することが出来る。山麓には「衆の寄蹟は實に天下に冠たるもの で、僅か二時間有係にして噴火口 ゆる鎮政副群は熊本市から自動車」上里、三時間で下る。二俣の圏、 樹木等の温泉が再出する。

| 商正公号、檜面し細乳洞を始める|| 選する荒磯島のやうに思はれ、

で熊本より日識りの好層運地であ

には公にが死した大本土を、及願 く荷泉源出する近郷一日の野郷一庭明は日夜館ゆることなく、廣博 △八、景水公台 水町寺と間じ 短明は日夜絶ゆることなく。廟桐 亭を描、鶴开距離、立田晒風など

麗水港驛掉頭(川崎汽船出張所) 體港運 輸

(代理店

等 (雜居) 二三○名

寢台 十三名

,市神户區海岸通八番

助がありましたら良く御用祭 します。御観光について不明な

響、角力人形、米霄車、獨紫、繰出人形)等があり、木製でお 郷土色ダップリの玩具各種がある 車・肥後伐天影、獅子頭等何れも 奪、婦人形、風、お花の金太 (月 題派 版料小麥の生産地で古く

0

要殺してまでなしてその後へ迎い

れた相似が死を全てねばならな

たとがある、今また凝理ある実

熱くなり、蔑蔑か泣して

符は日仰いどくなり、そのため極 叫めしい + の歌いた遺跡を残して 数階助罪として極雄局で取調べら

かむさもせず、確なに對する

ははつひに昨年七月仕九日・天も

まで数年間自分のため適心を挙げ

死た様女を冷遇し果ては同地で 君板を捌げるやうになるや、 るにも加らず、閔氏は一人前の資 女の試心からなる援助の結果であ

り忠州温陽温泉に向生の紀

りゆく櫻花と共に

人々から食むされてみた石き腹部が、しとく一味り出くい飲り行く脚花の如く、飲食の腹部がとして附近のその酸素を誇つたもつかの間にはるさめに打たれて離れるの酸素を誇つたもつかの間にはるさめに打たれて離れ めたい夫の心を悲觀し はるさめの音を聽きつゝ毒をのむ・危篤

査を行う、 器重着望着の範疇は大 道内の人とし、他直の人々に對し 體忠南北、全南北、慶南北、の六

思議な因縁 品屋さん。 ぐはみだれを収しく是つめて我のみぞ知るはかない選

料件初数三国、一数四国、三段五

四般六重である

半島出身の

これより先き内弥局でも二百萬國(蔡三百萬國もその半額武に節約ぎ)

ひ受け、現在の人道橋より徹底も「上に四人の孫遵(長女宮下とりさ)となるので、これを人道橋に 黄」の文卓氏は同時にまた文郷に死船

山梁國等の建立に着手した

○それにしても「岩の開版」

に架け審へることに内定したが、し回際備たる開聯江越順を本年中

既報の如く極直局では豫定を變更

は個次行うことになつた、響流

=妻ふたり毒をのむ

動務周長春氏に四日監察院士の第一併行し、現在の総語が三年後不要一

栗原元中尉の嚴父

東京電話 埼玉縣立態事試験望 中であつたが、郷塩局の新針電と 案として真んである

を投じて人遺歯の架け替へを計画しれるので、關係方面では一石二島

光解院々長関西県氏の要性温順で四日午後四時頭京城銀路二丁目三 人が避児、手當したが、生態信息 ん(元)が突如苦悶してゐるのを家」きょ入れず、浮かれた夫の振舞ひ 脱版は最近限院長の態度「手當て中だか総望越されてある 先妻・毒死 を恐惧し死の陳言をしたもので、 茂度か真心から匿々家書をしたが 弓道移動審査

鍾路署が事情を調査

関院長はかつて光郷に横氏(べ)と) 閔氏の出世に内助者だつた

から武徳留朝鮮地方本部では弓道 界段試験に要する旅費節約の主言 全北支部で

いかと、網路客ではその間の事情

なり、张る五月十七日(日曜日) として内道移動器査を行ぶことに 修練の人々のため、初めての試み

·◆これは二・二大事物が生 後日話である

鈴木天山師の許に参じて

柳奈川に寺院を建立

いま練識に脚取一重優備大佐は事性以來はく温度の

を念佛三味

が人があて、今日に於ける関 學覧、切は勿論、個

金北直支那直場で第一回の移動器しんだ武人の父と子をめぐる設备な一の日を持つ『原原工中語の議文学院』

全朝鮮寫眞聯盟主催

春季撮影競技會

題

第四部 第三部 第二部 第五部 網屋觀造林式會址獎品 朝鮮總督府專賣局製品 キリンビール株式製品 朝鮮麥酒株式會社製品 (上間、大震議所その他の設備等) <u>@</u>

إلى إلى الإن الإن المن الله الله المن المن الموران المن الموران المن الموران المن الموران المو

の地力協同又は各個機関に過宜の方法で開く、詳細は広く酸数します。

詳細は追つて發表

各種に於て必要により、それかくに限るものとす、なは撮影會は

但し出品者は本師盟加盟の機體員

当は四日午後六時卅五分郎時列昭 10回。近近昭曾總田曜の第二郎三百一

近日子山河東南省岩地區 1000年1000年100日子 1000年100日子 1000年100年100日子 1000年100日子 1000年100日 1000年100日子 1000年100日 1000年10日 1000年100日 1000年100日 1000年100日 1000年10日 1000年100年100日 1000年100日 1000年10日 1000年100日 1000年100日 1000年100日 1000年100日 1000年10日 1000年100日 1000年10日 1000年10日 1

の遺遊館に臨み、午後九時三十五

一部戦略し延興手は顕部を真偽し

京城では盛んな歓迎

じ眠やかに入城、朝鮮ホテル、備。正律兩氏はじめ

戦のメムバーに優る第二般には

締役)石川等工學博士(日本カ授)年騎籍氏(日本南楽売初取青柳菜司工學博士(京都帝大教

(高麗は京城驛に着いた一行)

→第一高女明に走り、そこで車を

商齢社長) 今果沙松氏 (元賦真) 「ボン厚荷) 板谷蘭助氏 (板谷

助 章勞功官榮誉 融殊る語物が

0)

救

洛東江の大洪水に輝く殊勳 廿四人の命の親・松田國雄巡査

で明日五十年名は、雑数の甲変も 一色と化した一面、高々たる水勢、離れた上流玉洞の高地に避難した「曾有の大池池に見ばす歌りた火泥 同所もまた制工趣所の決強」を記見しては能一人能を出さうと

認が国しちやあ腕利きの船頭を「目肺、折角の御命令ですが水」

こんところは一つ御動蜂願ひま

想

今はたと死を持つのみの武道に路に内地人青年三名を伴ひ雄々しく

使つて破骸の極みである。見節、あがつた極端だが、たほどす點いの形をは極端なるがは「若つてゐるではないか、雨は高くわきなつ茶碗は磨練なるがは「若つてゐるではないか、雨は高くのでを知べい魔を襲回の思報は、 **脂をあぐれば指呼の間に孤立した**

昭和九年七月記東江の大氾濫の時

الهن الهرواقهن والاين والعروالهروالهروالي والمراوالية الإوادالية والإوادالية والمؤرواة الإوادالية والمهدالية والمتحاص المالية والمتحاص المالية والمتحاص المتحاص المتحا 附雲は頭上に去来する、豊富畑く一

田巡査は船頭を叱咤したとみるというなどは、アイ・リン・ジーと思た、頑張れつしなどにつきる思能った中にそれは懸 屆 災しい姿であった。かくて帰女子 て辿り合ふのだ。此を則にたと彼

警胎出来た 順ばかり除たる水中の側の木に を指つて潜ぐ、弾ぐ、曳ぐと を指つて潜ぐ、弾ぐ、曳ぐと

けて岩上に組つて、百歳の直走つ 力強く踏んだ、そして提展一枚の ながら壁に孤島につとしき現地を

りんとした過去の命令に殺害だつ た人々も一番に我に辿った。そし

(元內務省大阪土木出張所長) 道者屬此) 坂本助太郎工學博士 技術部長) 黑川巖醫學博士 (鐵

一と先づ芸堂地帯に跳し得た二十四名を船犬らを追儺して収容

ある。しかし身をもつて難に赴いてこの日はうちきりとなつたので た松田巡査の犠牲的精解は酸はれ るものは人間の力である、早朝か

一行は五日脚宮書拝後、

問いて第三回、あゝしかし扱りあ

で閉艦の京城聯合航辺雪の午餐雪 會經本) 山本受男氏(同上)

| 関対プトでんの長男!! 坂小沙技

**。」正笑もやん

うれしい話

年生に美者(こ)は昨年三月自宅

銀行、酸此等の人途に服用しても

クを一萬五千閒拵へた、これを

愛護マー

らよことになった、希望者は京城 個五銭で潤布しな學校、婦人関語 豆城府では全國兒童要邀週間で

が一年経つで理附された。 で十一回を拾ひ龍山置へ囲げ出

けふの天氣

昌慶苑落花風

しりついても生きぬかねばならな

て感情を配した道世の跡の一節、

影響の散役につまぐる数味もある

興された、氏は太正八年七

が、絢爛を続った死も控つ/〜WI 日配となった こで見答の瀬路墳を袖出してゐた一が、破線は軍定通り開発は果る。 が、絢爛を続った死も控つ/〜WI 日配となった |登し地は陽道に選まれて總化一巻||り初めたのでここ二、四日の私

高、その故にこそ一層愛悩せずに は居られない骨肉風愛の宝洞

治二十一年生れ脱難京城永楽町二してゐた萬擧の土である。氏は明

今の鐵橋を貰つて

橋架替

情錄江橋

一石三鳥家

の間孜々として抽架の服乳に受賞 千八月以來現在の地位に轉じ、そ 正事政皇所技手を拜命、同十五

断求の生活であつた「我子の罪障 けいの日のその大空に取つて最も 帰水天山跡の胸にしみじみとこた。 職勝田俊則師を通じて曹旭宗で長 消費のために窓第三昧に暮らした 目然な行路は沙門の姿による永生 ーこの批願は藤市賢宗寺住

は如山の法號を興へられて世を渡 てた人となつた、同時に蘇生を夢

ら寺院建立に捧げることとなり、 のそれのやらな妻子を消てへの * 瀬田ではありません、もつと版 瀬田ではありません、もつと版 瀬田ではありません、もつと版 としての御奉公がしたいところ としての御奉公がしたいところ としての御奉公がしたいところ

とて差し出した除世常順の一首… 負はたとへ佛の道にたどるとも 樂部「軍(2)二一八五三交は三越 五十八歳を一期として姿に變つの自宅に大佐を訪へば らめの硬でつめたくねれてゐる ◇……◆一日夜目黑腦類揚八〇四

切含めて五十五圖、破格に安値な

八日間の顕像な底です

は墨で自動車、金塚に見動料の一 いふ仕組です、それに各地の見物 連絡船は二等、各地の旅館は一等

待遇で飲の疲れを十分に癒さうと

墨無愛

料で差上げます

全州地方法院

三等ですが、顕然

式がが原光質等であげられ | ◇去月二十四日厳添な得度 およれなけ事明

ますから金十国を添へて本社の事

市

申込は けふ五日で揺切り

既に織郷市芸神川風太尾町に食上

一二へ申込み下さい、旅は道件れと 内のピューロー「龍(2)二一一 にとの領特から間観は卅名を取つ 言いますが開催としては最も思程

漢江橋上で

寸待て 人要助かる

サントにありまれ

蓄

チャーシおつけから

お風りの方は

<u> 金精 章 殖</u>

金預昔貯

貯鮮朝

さらむれいんきんうどで

かゆき

年美一月三月三月全身用五月

力老指正好席上至全社創點

村货産强

貸 謔

銀

と個身を影響してらしい が認い可止めた、州人は元町一 江に飛び込まんとするのを地行人」するかりの 仏人道像上で一名の朝鮮婦人が必 公司電話] 三日午後三時前次

地ばかりです。そして十五日の戦

明に月經が止り 身盛にも異似を悪し 人知れな関うのお方に一特殊が連門の 上一丁目常能製造は被形がの良法を 上一丁目常能製造は被形がの良法を はを収めたる一大阪北原合根崎

淑明前校長の遺族 獎學金一萬圓

一周忌に意義ある企て

起激さんの一則忌に強り、避疾剤・駆け、職負生心脈に卒業生代表・協助と子高等害追撃技先代权長率・激な史の命目に當る四日追悼さ 一萬個を岩脂した間板では放李寅一態要節金を援限した 東九男爵はこの程等學政金として 金谷まで学塾、魔良生帝を表形

るれ売らかく効く効らかい良

グッラド田有

10 理学的康洛科斯战 (優任邓·福祖權效)

推满

| 電山線共町

氏(水)に法次を省たか、大佐は、鮮俗は自慢に関するものです」、「とあねこ:山は自動車の過程等中への何が鯉面後端大佐祭師里、卿も加され、半島の姿を収めた朝、本へ向つ熊本原、水明寺、水妙寺、小沙寺、

「別」と、と言い語へしつこと 管理に多では葉度部が記者の問題とり観視して品願さい、それから解

十二日は船中より有場にを施上と

たださびしく徹美して答べない。

に夢じて徹底覚戒の式をあげ、納しあることはお疾めして間違かない

は心ず認識を新たにすべきもの数

我华島 と語画的に、地理・著きこ、立一湖、十一日に天主朝的に開設な左側のある九州への版 に飛転要求の数を辿り、触動を脱的に開設な左側の 地理・著きこ、立一湖、十一日に天主朝

新した九州観光頭行である

て大宗府に劉邦、それから長崎に に指で西公職を探り二日市に答つ

ようといふのが、今度本部で計

果に渡って観測る五月の底を愉悦、や市内見物して一治、十月色帰宮

南国の音い海と、新雄と、そして温、緑を競って九日朝間多着、「地野野」も何と愉快な風光と懐しまれる上

甲込みはけるまで

五月の旅に参加團員を募る

め

強起、既刑宗豆長鈴木天山師の許 恵を表はしてゐたが、この學一般

龍の形人として観念に激った誤職「観光ルートは八日の年景」・時点域「ど郷光コースの一端を拾つて見てしかし奴とも切り役員要清氏を毀しせる」

所せて好個の研究思料にもなりま

治、上四日は自動戦で地震到りなの戦行を終へて肥時に着き間後一

礟道協會の

に第三班人

安全地帯へ 自動車が突入

ばい書

海霉素 別八円 特六円

※ 京日案内

言書が登録へ 東本語院

11111 4次空空水路: 图1

頃、銅巌通りから走つて來た一選一た、銅紙遊戯が調べるとこの自物を開る 一財 止んだ 四日午後八時一置き捨てゝ何れへか行つてしまつ の自動地、濡れたアスファルトに 怪我した運轉手何處 単は京六四人號と戦つたが、進載なた、釧路高殿が調べるとこの自動

ケダ小見内科病院 新規第一組用 勝三

告に取り特に意画にて掲載す ・ 関五十銭度名は一回年に五十 のでは、一回年に五十 のでは、一回年に五十 のでは、一回年に五十 のでは、一回年に五十 のでは、一回年に五十

領レコードに破

分臨時列車で大連に向い置である一た機構であるが、驚いてみる通行 水眼色数ミサオさんでの奥田シゲ 家出の娘二人

ョさん(**)の繭名は敷日削家出し たが三日位京城質緩町、川路旅館に 低廉需要無限利益の



投信してゐるのを解析者最か設見

よで吹い埋料 ーソンキチ 京東

対電式旅ス 区 会れ 利用者の安全は第一 京場音野町一ノ九一成本六九一番 京場音野町一ノ九一成本六九一番 ŧ

支 店 京城府鎮路 電話光化当(3)長1580 1338

傾濱火

が淋しさうに空間を見詰めた。

黒里上はから離り終ると、何敬一「お星様!」 お星様!

仰高るの

4、「庶日南端へ花を贈つてあげた

其の心の能を抱いてゐて、 一人で

れにもつてたのか、私のとこから

間出商館の重役さ

してゐる。境遇といふものを考べ

「たけどお恵は常嶋が鏡より郷産 同二時 婦人

込んだ。が、急に顔を上げて、

とを認ねちやいけないよっ 「お兄族もね、英里子。米國へ行

いくお兄様が居るこ

、前に好きな女がゐた。併し境遇

同六時五五分(小)カレントトピ

全

つてておくれ……ね、萬里子。「歌つてて、お兄供の言ふ間、駐

ない。お兄様こそ盛よっ!

たことは、戦烈でなくて本意の

そ、その無名の好意に、其の人時に無名で贈つてあげたわ。今度に

関る、お前の「今への<u>新</u>鑑」なん 「魅だ。それは自分の本當の心を

たわれる困り扱いたのでせる、

の好意に弱つてたのよる。其の次に 高つたわり其の人間り主のわから 人間り主に迷つて、到當私ぢやな い切符を贈つたのよ。すると其の 私ね、その人に無名で歌舞伎座 野堂の服由異称に輝やいて来 っそれつきり、その男とはもう逢

どんな男がいとか。僕がそのうち

湯翳加治川堪及胎中より無線中の同九峰五分(新)ラデオ隙間=新田銀 東 震 腐 塚 原 は 一 実他 大勢 同 実他 大勢 同

同九時三〇分 唱劇副 同九時 映画物語

同八時二五分 洛斯 清婆清 同八時二五分 洛斯 清婆清 清婆清 清婆清 清婆清

萬里子回

二人は脳々に、自分の心をじいつ

相手はあるものだよっ香代子を見

片岡 右門 有門 右門

同八時三〇分 小春香飲外同八時 辞演

| 報言機

文一平

「ええ、お兄様見てるわら 一等や展里子、お兄様の顔を見る **東里子は空間を見詰めたま」で** 秀彦はから言つて、椅子を萬里

「あら、お兄旅。そんな事つてな のやうな・し ひつばたくぞうな強い人がいるの 『い」よ。 既にだけ、そつと言う 『たつて、可笑しいわ ておおきでね、そのと…… 顔はゲーリー・クーベー

婦人の時間五七神日午後二時

用村でる實情大時三〇分(東)英語勝座(二

六口のき、物

の召集令 来殿の召集令 未服

日常生活に於ける工夫



ものときめて了つて毎日コッ/~ ものです、家単はゴタ~~忙しい に主婦は時間と手間を貸してゐる 江郷が多く、目に見えない様な事

ーが一歩々々はぎれよ

色を存货に護揮したタンゴ

せうかの深く反省して見ますと思

同六時三〇分(東)基礎佛語講座午前六時(東)ラギオ網操 五日の番組 一放送(火曜日) ったよれも頭を動かせないで不便

夜八時:

帰月五

例ひする事にしませる」と、!!

位言から他所にやったのた は生れたましの男の子を排迫る住 にかへった様になる。「気張りお 解話を一省船いて行く

るデバートの軍上座

大阪から

って決の上へ思ひを騙せる健康な

Ē

ヂ

才

風

景二三題

同九時 (東) 衛生メモ 同七時(今日の天氣見込)のと音(観集)のと音(九)のと音(観集)のと音(観集)と 生活を断けて行きないものです。 か、どこが不便かを考へて見ずせ 康をこく見つめて、なぜかうなら と家具の二日間にわたつて申上げ 見たいと思います **満はもつと日常の小さい**

モニカ 快適な若天婦が間にやらに踵轍を「を終した手紙が塞てゐるのだつた。(輸やながめて物器のに恋んでゐる)節句だから是非索でくれと心持ち ながめてはやがて生れでるであら、……命言もその心になつて二人に 祥吉と裏田子とが住んやり雕 雌つた側の父母から令日子供の初

朝鮮に於ける

京城より全国中福

心田開發運動に就て

學務局長 波邊 豐日

(ミ) ボレロ集曲フォンフォ作曲 型する訪中を備き出した小曲 関する訪中を備き出した小曲 イミング・システルスゾーンの無言歌の中の カンナ作曲雪壯活躍な華やかた行 慶散る節かな春の雨の一刻を楽し《ロ》夜曲ジャコパアチ作曲 ・ことが出来る。而した山流市の接頭も結局は養硬力の趣もある。この二つの運動の中によく字質イズムの現故を異めぬう。この二つの運動の中によく字質イズムの現故を襲めて、ある説山礁市の進興の中にはく字質イズムの現故を襲げつくあるが、中にも認るに思るべきは総元説も落果を襲げつくあるが、中にも認るに思るべきは総元説も落果を襲げつ 関年を四へた。この間半點の銀河上降やかしき荷職は象研は「衛年朝鮮」の競である。 朝鮮は昨年を見て着線二十五部重歩線域、 署の野邊の着草の如くタン/〜歯びつえある

で 同四時三〇分 野球試合質流 (歌 個日) 第二政治) 京城球球より 同六時 (家) 京城球球より 時六夕 期、即ち心田の印鑑な証拠となってある。没って郷か心田問題連続に置する所別を述べたいと思ふ

端午の節句 東京コドモクループ

日の來るのを指派り酸へて待つて に乗せて置いてあります、學校か問的やんと歌もやんの兄弟は、今 好きなお伯融が山の際にお詫の上 いいつてきた腹ちやんを散ちやん

手柄語を懸かせた上、不思議な鎧 はビックリしてゐる四人をつれて

てあった。恐が急に話しかけました (四) 人が伸よく凝んでゐる

四人が生れてから見たことは勿論一けい遊園の中に、いとも楽しく いろと順ちやん塗の御先祖の

伸入も、ひつくり仰天、このこつ つてるーー」といふんで、同僚も 前、総配したばかりのあいつ、

た古い鯉の庭りを送つて來る。 息子が小さかつたとき、空に立て 丁は親心をうれしく、 その古 の故郷へかへる、東京の息子光樹 ところもない、といふほどの紹介 に結戦域を終って、もう思ひ続す 神息子師 の父と母は、

出世して張る。湖い頭からの仲善東京へ出てゐる意子は、だん!~

通 應 症 候

生じ、腹様の分泌物が多く出生じ、腹様の分泌物が多く出生、腹様の分泌物が多く出 等に對し、数力を呈します。 優 定 注集智付新製塩入七十億

以は腫脹を 物を制限するなどの效能あり は細い 製め 一京はかる。 ではかる をより 製は出る 血。或。

の家庭薬卅二方の内容明記本邦唯一の

呈進

同大時 見重劇 鉄後の友 のであって、御祭経言に経過するのいて 域大教授修理作士 フェー・エンドの選択域にあるで 選集側 見重要課に クェラン女史のナーサリー・スク 海道 児童愛護に クェラン女史のナーサリー・スク であって、御祭経言に経過する 理能的質威の概能なるに過ぎない。された、との一週間は見望意識の のであって、御袋鑑ぎに終始すべ 施は例手に出し一層をとしく問題 刑遇に横たはれるかを指摘して見 法人登記公告

华四月武總日登記

流行し今や全世界を風吹してゐる本年この歌が出るや忽ち至来に大

(ハ)青波は踊る服」の主題歌の一つである

。聽江西出張所

つてかいつて行く、子供を置つた デオの強田の融がらた際の一部上 家では振やかな節句の集ひだ。ラ -- 人はやつと人形を質

順で「南米出島」をやる、頂上の 加藤」をやる。メンゴに因んで「宮 お祝ひの言葉が渦帶く、誰かい場 人形に因んで誰かと整色で『地震 歐級登記公告

せを見て幹吉と由于は人形をあつ けたまと無言で去る、女中から聞 供の美ひ、繭殻の集び、子供の幸

しに出て来る

演出場劇實東

となって、

同九時三〇分 同一〇時 ニュース、気象通彩、電日の香茗(地方へのニュース・京城) 同四時三〇分野建筑合實法(車所側の)第二成後一原城群集上り 中華一郎の大相撲養近(野家な) ・北海一郎の大相撲養近(野家な) ・北海一郎の大相撲養近(野家な) ・北海一郎の大相撲養近(野家な) ・北海一郎の大相撲養近(野家な) ・北海一郎の大相撲養近(野家な) 同一時(東)家庭護座

中一番者の本る名・南葉の見方(二)中一間(C時にO分(ま)家庭講座中間(C時にO分(ま)家庭講座を開発している。 午邊等時五分(東) 武数

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選

禁盤斷上演映畵

(144)

文画課案 一、五月鹽

根本精神の見が変します。

元重要要適問十周年に際し、半島 大學新題松月秀雄

(委員不要) で、「の機能にあり」の機能にあり (語)の 東京・ 両國 総語製作代表 | 一〇 本部 東京・ 両國 総語製作代表 | 一〇 本語 | 一